

「【平成23年基準】公共建築工事積算基準の解説<設備工事編>」

正誤表

「【平成23年基準】公共建築工事積算基準の解説<設備工事編>」の文中に、平成23年12月現在、次のとおり訂正箇所がありました。

つきましては、ご訂正のうえ、ご利用下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、83頁以降の表の訂正箇所につきましては、該当頁の表を切り取って本文頁に貼り付けをお願い申し上げます。

【平成23年基準】公共建築工事積算基準の解説<設備工事編> 正誤表

I 総論

頁	行数・表番号	誤	正
2	扉の裏 上から6行目	「数量積算基準」：公共建築設備数量積算基準 (平成23年度版)	「数量積算基準(設備)」：公共建築設備数量積算基準 (平成15年版)
19	表I-2 上から4段目	接地埋設標	接地 極 埋設標

III 公共建築工事共通費積算基準・解説

頁	行数・表番号	誤	正
56	上から13行目	工事を 単独 で発注する場合は、	工事を発注する場合は、
57	下から12行目	現場 監理 費率は、…	現場 管理 費率は、…
58	下から3行目	…、その他工事の 純工事費 は…	…、その他工事の 現場管理費 は…
59	上から12行目	工事を 単独 で発注する場合は、	工事を発注する場合は、
80	下から11行目	$Kr=22.86 \times P^{-0.4282} \times T^{0.4100}$	$Kr=22.89 \times P^{-0.2462} \times T^{0.4100}$
	下から9～8行目	上限= $16.73 \times P^{-0.4282}$ 及び 下限= $9.08 \times P^{-0.4282}$	上限= $16.73 \times P^{-0.0992}$ 及び 下限= $9.08 \times P^{-0.0992}$
81	上から3～4行目	上限= $8.47 \times P^{-0.00608}$ 及び 下限= $3.10 \times P^{-0.00608}$	上限= $8.47 \times P^{-0.0608}$ 及び 下限= $3.10 \times P^{-0.0608}$
	下から14行目	… $\times NP^{-0.3528} \times T$ …	… $\times Np^{-0.3528} \times T$ …
	下から10行目	共通仮設費率10.13	現場管理費率10.13
	下から7行目	現場管理費：325,890,800(円)	現場管理費=325,890,800(円)
82	下から9～8行目	…代入して 一般管理費等率 を求めると、…	…代入して求めると、…
83	表III-14 下記9箇所を修正(別添83頁をご利用下さい。)		
	上から9段目(4箇所)、15段目(1箇所)	共通仮設費	現場管理費
	上から17段目(4箇所)	共通仮設費	一般管理費等

頁	行数・表番号	誤	正
84	下から13行目	一般工事の(改修)	一般工事(改修)
	下から3～2行目	上限=8.47×P ^{-0.00608} 及び下限=3.10×P ^{-0.00608}	上限=8.47×P ^{-0.0608} 及び下限=3.10×P ^{-0.0608}
85	上から2行目	共通仮設費：50,000,000(円)	共通仮設費=50,000,000(円)
	上から14行目	共通仮設費：30,000,000(円)	共通仮設費=30,000,000(円)
	下から12～11行目	Kr=10.03×P ^{-0.2027...}	Kr=18.03×P ^{-0.2027...}
88	表Ⅲ-15 上から19段目	発生材処分費は 共通仮設費	発生材処分費は 現場管理費
90	下から14行目	…×NP ^{-0.3085} ×T…	…×Np ^{-0.3085} ×T…
	下から10行目	共通仮設費率9.31	現場管理費率9.31
	下から1行目	…×NP ^{-0.5122} ×T…	…×Np ^{-0.5122} ×T…
94	下から9行目	下限=2.07(%)	下限=1.66(%)
95	下から4行目	(Jo=825.85×P…	(Jo=825.85×Np…
96	下から14行目	658.42×P ^{-0.4896} ×…	658.42×Np ^{-0.4896} ×…
	下から1行目	P ^{-0.4085} …	Np ^{-0.4085} …
97	上から1～2行目	上限=184.58×P ^{-0.2263} 及び下限=87.29×P ^{-0.2263}	上限=184.58×Np ^{-0.2263} 及び下限=87.29×Np ^{-0.2263}
98	表Ⅲ-17 上から2行目	…、改修電気設備工事(改修)、建築工事(改修)及び昇降機設備工事(改修)を…	…、改修電気設備工事、 改修 建築工事及び 改修 昇降機設備工事を…

V 公共建築工事標準単価積算基準・解説 [電気設備工事]

頁	行数・表番号	誤	正
124	表1-2-1 上から2段目 表中	①電動機その他接続材料	①電動機その他接続材
		⑥防災区画処理	⑥防火区画貫通処理
130	表1-1-2 上から7段目	合成樹脂製可とう電線管(CD)	合成樹脂製可とう電線管(CD) 埋込配管
148	下から9～3行目(5箇所)	隠ぺい・ 露出 配管	隠ぺい・ 埋込 配管

頁	行数・表番号	誤	正
149	表1-1-24 タイトル	隠ぺい・露出配管	隠ぺい・埋込配管
162	下から1行目	5,980円/m	6,070円/m
163	上から1行目	5,690円/m	5,770円/m
	表1-1-41 下記6箇所を修正（別添163頁をご利用下さい。）		
	タイトル	「耐衝撃性硬質ビニル電線管（HIVE）隠ぺい・露出配管22」	「トレー形 溶融亜鉛めっき（275g/m ² ）製 透明塗装200（1段目）」
	上から1段目	適 用	摘 要
		補正率 b/r	補正率 a/k
	上から2段目 適 用	200 A	200
	上から2段目 参考歩掛り単価	5,980	6,070
	上から3段目 参考歩掛り単価	5,690	5,770
164	表1-1-42（別添164頁をご利用下さい。）		
	表1-1-43（別添164頁をご利用下さい。）		
181	上から3行目	表1-1-14に補正市場単価を適用する細目、表1-1-16、17にⅨ附表	表1-2-14に補正市場単価を適用する細目、表1-2-15、16にⅨ附表
	表1-2-15 補正市場単価 （算定式欄）	$K \div 1$	$k \div 1$
	表1-2-16 補正市場単価 （適用欄）	600Vビニル絶縁電線（HIV）	600V二種ビニル絶縁電線（HIV）
182	（表を除いて） 上から6行目	管内配線補正市場単価から	管内配線1.2mmの補正市場単価から
188	（表を除いて） 下から2行目	表1-1-26参照	表1-2-26参照
193	下から3行目	「…銅及び銅合金の板及び条」	「…銅及び銅合金の板並びに条」

頁	行数・表番号	誤	正
196	表1-3-8 参考歩掛り 表番号(2箇所)	表RE-1-4	表RE-1-12
	(表を除いて) 下から4行目	表1-1-3参照	表1-3-9参照
203	上から8行目	表2-1-102	表2-1-100
	表1-5-1 表1-5-2 タイトル	表M1-1-71	表M1-1-70、71
	表1-5-2 下記6箇所を修正(別添203頁をご利用下さい。)		
	下から1段目 容積品(6箇所)	m ³ 未満	kg/m ³ 未満
230	表2-1-25 下記1箇所を修正(別添230頁をご利用下さい。)		
	表の右から2列目		雑材料欄追加(電力量計と電工の欄の間に入る)
239	上から5行目	①…「第1節共通工事2-1-3接地工事」…	①…「第1節共通工事3接地工事」…
242	表2-3-2 下記10箇所を修正(別添242頁をご利用下さい。)		
	右から5列目 単位(3箇所)	一式	1式
	右から3列目 雑材料(7箇所)	材料費	材料価格
243	表2-3-3 上から1段目	1組当たり	1基当たり
	表2-3-3 上から3段目 突針	単位 基	単位 個
250	表2-4-4 下記4箇所を修正(別添250頁をご利用下さい。)		
	表2-4-4	高圧コンデンサ	高圧進相コンデンサ
	表2-4-5 下記2箇所を修正(別添250頁をご利用下さい。)		
	表2-4-5	直列リアクトル	直列リアクトル(高圧進相コンデンサ用)
256	表2-4-14 下から3段目 その他	備考 2,880×0.16	備考 2,880×0.14

頁	行数・表番号	誤	正
257	表2-4-15 上から1段目	1㎡当たり	1m当たり
表2-7-3 下記1箇所を修正（別添274頁をご利用下さい。）			
274	名称・所要量の欄	厚鋼電線管	厚鋼電線管・ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管
275	表2-7-4 タイトル	表E 1-2-39	表E 1-2-38
276	表2-7-5 欄外 上から3行目	節7 土木工事表2-1-72～76 による。(旧機械設備番号)	節7 土工事表2-1-109～114 による。
283	表3-1-9 上から1段目	1台当たり	1個当たり
	表3-1-9 上から3段目 ボタン用電話機	単位 台	単位 個
291	表3-2-7 上から1段目	据置形120W	ラック形120W
315	表3-6-6 上から1段目	1台当たり	1個当たり
329	表2-1-7 （別添329頁をご利用下さい。）		

VI 参考資料 [電気設備工事]

頁	行数・表番号	誤	正
表1-1-5 下記2箇所を修正（別添343頁をご利用下さい。）			
343	下から3段目 電工	備考 $0.056 \times 1.2 = 0.0672$	備考 $0.056 \times 1.2 *$
	表の下 欄外		* 露出配管のため、歩掛り（電工の所要量）を1.2倍した。
350	表1-1-12 （別添350頁をご利用下さい。）		
351	表1-1-15 上から1段目	1個当たり	1カ所当たり

頁	行数・表番号	誤	正
352	表1-2-1	下記1箇所を修正(別添352頁をご利用下さい。)	
	名称	分岐 幹線	分岐 幹線欄 削除
357	表1-3-1 下から1段目 接地極埋設標	単位 個	単位 枚

Ⅶ 公共建築工事標準単価積算基準・解説 [機械設備工事]

頁	行数・表番号	誤	正
371	上から1行目	…施工単価当たり…	…施工単位当たり…
375	下から5行目	、「数量基準」…	、「数量積算基準(設備)」…
382	上から1行目	…125A以上はフランジ接合と している。	…125A以上はフランジ接合又 は溶接接合としている。
399	表2-1-16 下から1段目	冷媒用銅管・被覆銅管	冷媒用銅管・断熱材被覆銅管
400	表2-1-17 下から1段目	被覆銅管	断熱材被覆銅管
404 ～ 405	表2-1-18 下から1～2段 目(4箇所)	冷媒用銅管 継手率 40 断熱材被覆銅管 継手率 30	冷媒用銅管 継手率 40※ 断熱材被覆銅管 継手率 30※
	表2-1-18 表の下 欄外		※継手、接合材等を含んだ率を 示す。
413	表2-1-27 上から3段目	80 1.05	80 1.10
414	表2-1-29 タイトル	…表M1-1-36、…	…表M1-1-37、…
	表2-1-29 上から4段目	継手 1式(管単価×1.45)	継手 1式(管単価×1.60)
	表2-1-29 下から2段目	1式(管単価×0.08)	1式(労務費×0.08)
418	表2-1-39 (別添418頁をご利用下さい。)		
419	表2-1-40 (別添419頁をご利用下さい。)		
429	上から7行目	また、多量トラップの労務は、 …	また、多量トラップの労務歩掛 りは、…

頁	行数・表番号	誤	正
443	下から10行目	…、保温労務歩掛りは、…	…、保温工労務歩掛りは、…
	下から9行目	…、ダクト労務歩掛りは、…	…、ダクト工労務歩掛りは、…
	下から1行目	…ステンレス鋼管及び鋼管の…	…ステンレス鋼管及び銅管の…
459	表2-1-83-2 タイトル	配管類（冷温水管）	保温工事（冷温水管）
	表2-1-83-3 タイトル	配管類（冷温水管）	保温工事（冷温水管）
	下から4行目	合成樹脂カバー	合成樹脂製カバー
460	上から10行目	合成樹脂カバー	合成樹脂製カバー
	上から13行目	合成樹脂カバー	合成樹脂製カバー
	表2-1-84 下記3箇所を修正		
	参考歩掛り 摘要欄	合成樹脂カバー	合成樹脂製カバー
	補正市場単価	補正市場単価（ロックウール）	補正市場単価（ポリスチレンフォーム）
	補正市場単価 摘要欄	合成樹脂カバー	合成樹脂製カバー
461	表2-1-84-2 タイトル	配管類（給水管）	保温工事（給水管）
462	表2-1-84-3 タイトル	配管類（給水管）	保温工事（給水管）
	表2-1-84-4 タイトル	配管類（給水管）	保温工事（給水管）
464	表2-1-85-2 タイトル	ダクト類（スパイラルダクト）	保温工事（スパイラルダクト）
	表2-1-85-3 タイトル	ダクト類（スパイラルダクト）	保温工事（スパイラルダクト）

頁	行数・表番号	誤	正
476	上から2行目	表2-1-101から…	表2-1-99から…
478	表2-1-101 下から2段目	ポンプ 重量品 1.0	ポンプ 重量品 1.1
490	表2-1-111 (別添490頁をご利用下さい。)		
511	表2-2-19 (別添511頁をご利用下さい。)		
522	上から6行目	また、標準仕様書との 接合 を図るため…	また、標準仕様書との 整合 を図るため…
530	下から2行目	なお、 機料 単価は…	なお、 材料 単価は…
542	上から4行目	…なお、(2)材料、…	…なお、 市場単価の場合も (2)材料、…
543	表2-2-46 下から1段目 名称	スパイラルダクト(低圧ダクト) ※ 市場単価は350φ まで	スパイラルダクト(低圧ダクト) 「※ 市場単価は350φ まで 」を削除して下さい。
	表2-2-46 下から1段目 規格仕様	100φ	口径100φ～350φ
544	表2-2-47 注記	チャンバー、ボックスの板厚は、三辺の最大寸法を、…	チャンバー、ボックスの板厚は三辺の最大寸法を、…
546	表2-2-49 (別添546頁をご利用下さい。)		
548	表2-2-52 下から2段目 ベントキャップ	直径100mm 150 200	100mm 150mm 200mm
553	表2-2-59 (別添553頁をご利用下さい。)		
577	下から8、7行目	ガソリン 阻集器	グリース 阻集器
598	表3-1-1 下から11段目	衛生器具設備 (在来工法) ー	衛生器具設備 (在来工法) ○
599	表3-2-1 (別添599頁をご利用下さい。)		
605	上から4行目	…切断し、 移行 のダクトに…	…切断し、 以降 のダクトに…
608	上から5、6行目	…、 新設 歩掛り…	…、 新営 歩掛り…
609	上から4行目	…、 新設 工事…	…、 新営 工事…
	上から11行目	…、 新設 歩掛り…	…、 新営 歩掛り…

頁	行数・表番号	誤	正
615	表 3－5－8	(別添615頁をご利用下さい。)	

VIII 参考資料 [機械設備工事]

頁	行数・表番号	誤	正
626、 627	参考表 2－1－4	(別添626頁、627頁をご利用下さい。)	
655	参考表 2－4－5	(別添655頁をご利用下さい。)	

IX 附表 補正市場単価算出方法

頁	行数・表番号	誤	正
689	【接地工事 1】 参考歩掛り 表番号	表 RE－1－11	表 RE－1－12

表Ⅲ－14 電気設備工事における共通費の計算例

(新営電気設備工事と改修電気設備工事を一括で発注する場合)

単位：円

工事種別	工期	直接工事費	契約済工事	今回工事	計	共通仮設費率	補正率	全体共通仮設費	契約済共通仮設費	今回共通仮設費
電気設備工事	18.4	一般工事(新営)		316,000,000	316,000,000	3.13	1.0	9,890,800		9,890,800
		一般工事(改修)		85,600,000	85,600,000	3.16	1.0	2,704,960		2,704,960
		その他工事		12,000,000	12,000,000	1.00	1.0	120,000		120,000
		小計		413,600,000	413,600,000			12,715,760		12,715,760
		発生材処分費		1,000,000	1,000,000	発生材処分費は共通仮設費の対象としない				
		計		414,600,000	414,600,000			12,715,760		12,715,760
工事種別	工期	純工事費	契約済工事	今回工事	計	現場管理費率	補正率	全体現場管理費	契約済現場管理費	今回現場管理費
電気設備工事	18.4	一般工事(新営)		325,890,800	325,890,800	10.13	1.0	33,012,738		33,012,738
		一般工事(改修)		88,304,960	88,304,960	9.52	1.0	8,406,632		8,406,632
		その他工事		12,120,000	12,120,000	2.00	1.0	242,400		242,400
		小計		426,315,760	426,315,760			41,661,770		41,661,770
		発生材処分費		1,000,000	1,000,000	発生材処分費は現場管理費の対象としない				
		計		427,315,760	427,315,760			41,661,770		41,661,770
工事種別	一	工事原価	契約済工事	今回工事	計	一般管理費等率	補正率	全体一般管理費等	契約済一般管理費等	今回一般管理費等
電気設備工事		一般工事(新営)		358,903,538	358,903,538					
		一般工事(改修)		96,711,592	96,711,592					
		その他工事		12,362,400	12,362,400					
		小計		467,977,530	467,977,530					
		発生材処分費		1,000,000	1,000,000					
		計		468,977,530	468,977,530	8.34	1.0	39,112,726		39,112,726
	合計(工事価格)									508,090,256

(注) 1. 契約保証費を必要とする場合は、一般管理費等率を補正する。

m²) 製 焼付け又は粉体塗装 200A (1 段目) (k) は、5,770円/mとなる。
算定式により補正率は1.05となり、この補正率1.05を類似する市場単価 (単価記
号：A) に乗じて作成する。(表1-1-41参照)

表1-1-41 補正市場単価 「トレー形 溶融亜鉛めっき (275g/m²) 製 透明塗装 200 (1
段目)」算出結果

細目	摘要	単位	参考歩掛り単価		補正率 a/k	備考
			a	k		
ケーブルラック	トレー形 溶融亜鉛めっき (275g/m ²) 製 透明 塗装 200 (1 段目) 支持材加算	m	a	6,070	1.05	表1-1-42
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき (100g/m ²) 製 焼付け又は粉体塗装 200A (1 段目) 支持材加 算	m	k	5,770		表1-1-43

トレー形 溶融亜鉛めっき (275g/m²) 製 透明塗装 200 (1 段目) の補正市場
単価
= はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき (100g/m²) 製 焼付け又は粉体塗装 200A (1 段
目) の市場単価×補正率
として算出される。

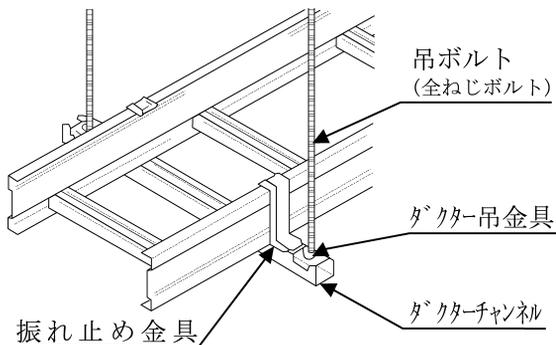


図1-1-20 ケーブルラック支持材 (参考図)

V 公共建築工事標準単価積算基準・解説〔電気設備工事〕

表1-1-42 ケーブルラック トレー形 ZT (1段目) 支持材加算 (a)

(「公共研参考歩掛り」表 RE-1-4)

ケーブルラックZT 形 (支持材加算)	200 直線 1段目			1 m 当たり	6,070円	
名 称	摘 要・規 格	単 位	所要量	単 価	金 額	備 考
ケーブルラックZT 形	200 直線	m	1	1,600	1,600	1本当たり4,800円 4,800÷3m
雑 材 料	(材)×2%	式	1		32	1,600×0.02
電 工		人	0.183	19,200	3,513.6	
支 持 材	インサート W3/8	個	1	31.5	31.5	* 1
支 持 材	吊ボルト W3/8×1000mm	個	1	83.1	83.1	* 1
支 持 材	ダクターチャンネル 40×30	m	0.2	331	66.2	1本当たり828円 828÷2.5m
支 持 材	ダクター吊金具	個	1	72	72	* 1
支 持 材	振れ止め金具	個	1	110	110	* 1
そ の 他	(労)×16%	式	1		562.18	3,513.6×0.16
計					6,070.58	

* 1 所要量=支持点数(2点)×0.5:鋼製ラック(支持間隔2m)=0.5(カ所/m)

* 2 所要量={ラック幅(200mm)+吊り余長(100mm×2)}×0.5:鋼製ラック(支持間隔2m)=0.5(カ所/m)

表1-1-43 ケーブルラック はしご形 ZM (1段目) 支持材加算 (k)

(「公共研参考歩掛り」表 RE-1-4)

ケーブルラックZM 形 (支持材加算)	200A 直線 1段 目			1 m 当たり	5,770円	
名 称	摘 要・規 格	単 位	所要量	単 価	金 額	備 考
ケーブルラックZM 形	200A 直線	m	1	1,310	1,310	1本当たり3,920円 3,920÷3m
雑 材 料	(材)×2%	式	1		26.2	1,310×0.02
電 工		人	0.183	19,200	3,513.6	
支 持 材	インサート W3/8	個	1	31.5	31.5	* 1
支 持 材	吊ボルト W3/8×1000mm	個	1	83.1	83.1	* 1
支 持 材	ダクターチャンネル 40×30	m	0.2	331	66.2	1本当たり828円 828÷2.5m
支 持 材	ダクター吊金具	個	1	72	72	* 1
支 持 材	振れ止め金具	個	1	110	110	* 1
そ の 他	(労)×16%	式	1		562.18	3,513.6×0.16
計					5,774.78	

* 1 所要量=支持点数(2点)×0.5:鋼製ラック(支持間隔2m)=0.5(カ所/m)

* 2 所要量={ラック幅(200mm)+吊り余長(100mm×2)}×0.5:鋼製ラック(支持間隔2m)=0.5(カ所/m)

(2) 搬入費算出例

- ① 質量0.5 t の変圧器 (0.7m×0.5m×1 m=0.35m³) の単位質量は500÷0.35=1,428kg/m³となり表1-5-2により重量品を適用し補正率を1.2とする。

$$\text{搬入費} = 0.5 \times 41,100 \times 1.2 = 24,660 \text{円}$$

- ② 質量1.0 t の低圧配電盤 (1.0m×2.0m×2.0m=4.0m³) の単位質量は1,000÷4.0=250kg/m³となり表1-5-2により容積品を適用し補正率を1.7とする。

$$\text{搬入費} = 1.0 \times 41,100 \times 1.7 = 69,870 \text{円}$$

※ 搬入基準単価は、Ⅶ5(5)表2-1-100 搬入基準単価の計算例を参照。

表1-5-1 搬入費算出例 (「標準単価積算基準」表M1-1-70、71)

名称	質量	容積	単位質量	判定	補正率 (表1-5-2)	基準単価 (円/t)	搬入費(円)
	t	m ³	kg/m ³	重≥600>容			
変圧器	0.5	0.35	1,429	重量品	1.2	41,100	24,700
低圧配電盤	1.0	4.00	250	容積品	1.7	41,100	69,900

表1-5-2 補正率 (「標準単価積算基準」表M1-1-70、71)

補正率			
質量又は容積質量			補正率
重量品	600kg/ m ³ 以上	250kg以下	1.3
		500kg以下	1.2
		800kg以下	1.1
		1,000kg以下	1.0
		3,000kg以下	0.85
		5,000kg以下	0.75
		7,000kg以下	0.7
		10,000kg以下 15,000kg以下	0.6 0.5
容積品	600kg/ m ³ 未満	600kg/m ³ 未満	1.0
		500kg/m ³ 未満	1.2
		400kg/m ³ 未満	1.4
		300kg/m ³ 未満	1.7
		200kg/m ³ 未満	2.0
		100kg/m ³ 未満	2.5

(注) 1. 単独搬入の場合は、補正率を30%割増しする。

表2-1-25 開閉器箱・配分電盤（組込機器）（「標準単価積算基準」表E1-2-16）

開閉器箱・配分電盤（組込機器）														
細目	摘要	単位	名称・所要量										その他	
			リモコンリレー	リモコントランス	ターミナルユニット	伝送ユニット	電磁接触器	タイムスイッチ	コントロールユニット	電力量計	雑材	電工		
			個	個	個	個	個	個	個	個	個	人		
リモコンリレー	20A	個	1										0.084	1式
リモコントランス		個		1									0.050	
リモコンリレー-T/U付	6A×1	個	1										0.062	
	6A×4	個	1										0.200	
ターミナルユニット	1個用	個			1							1式 (材料価格×0.02)	0.025	
	4個用	個			1								0.050	
伝送ユニット		個				1							0.146	
電磁接触器	2P協約形	個					1						0.125	
タイムスイッチ	協約形	個						1					0.050	
コントロールユニット	タイムスイッチ用	個							1				0.050	
コントロールユニットAS付	タイムスイッチ用 自動点滅器対応	個							1				0.125	
電力量計		個								1			0.217	

(4) 単価作成例

〔分電盤の施工費計算式〕

分電盤施工費 = 材料単価 × 雑材料率 + 労務単価 × 所要量 + その他 ※

※その他 = (労務単価 × 所要量) × 下請経費等率

表2-1-26 分電盤施工費（「標準単価積算基準」表E1-2-15）

分電盤施工費	L-1	壁掛形		1面当たり	124,000円	
名称	摘要・規格	単位	所要量	単価	金額	備考
分電盤	L-1	面	1	(749,000)	(749,000)	参考値 別途計上
雑材料	(材) × 2%	式	1		14,980	749,000 × 0.02
電工	適用人員	人	5	19,200	96,000	*
その他	(労) × 14%	式	1		13,440	96,000 × 0.14
計					124,420	

V 公共建築工事標準単価積算基準・解説〔電気設備工事〕

表 2-3-2 雷保護設備（「標準単価積算基準」表 E 1-2-20）

雷保護設備									
細目	単位	名称	摘要	単位	所要量	雑材料	その他	備	考
突針	基	突針管 支持金具 取付金具 電工	屋上・外壁	個 本組 人	1	1式 (材料価格 ×0.02)	1式		
					1				
					2.65				
導線	m	導線 支持金具 電工		m 1式 人	1.1	1式 (材料価格 ×0.02)			
					0.092				
水平導体又は メッシュ導体	m	銅より線 支持ボルト 電工		m 1式 人	1.05	1式 (材料価格 ×0.02)			
	m	銅帯又はアルミ帯 支持ボルト 電工		m 1式 人	1.05				
鉄筋等接続端子	個	接続端子 溶接工		個 人	1 0.230	1式 (材料価格 ×0.10)			
水切端子	個	水切端子 電工		個 人	1 0.175	1式 (材料価格 ×0.02)			
試験用接続端子箱	個	端子箱 電工	1、2個端子用	個 人	1 0.250	1式 (材料価格 ×0.02)			
		端子箱 電工	3、4個端子用	個 人	1 0.440				
		端子箱 電工	5、6個端子用	個 人	1 0.600				

表2-4-4 高圧進相コンデンサ（「標準単価積算基準」表E1-2-23）

高圧進相コンデンサ								
細目	摘要	単位	名称・所要量					
			高圧進相 コンデンサ	雑 材 料	電	普 通	そ の 他	搬 入 費
					工	作 業 員		
台	人	人						
高圧進相 コンデンサ (6kV/3kV)	三相 10/12kvar	台	1	1 式 (材料価格 ×0.002)	0.248	0.248	1 式	1 式
	三相 15/18kvar		1		0.301	0.301		
	三相 20/24kvar		1		0.442	0.442		
	三相 25/30kvar		1		0.558	0.558		
	三相 30/36kvar		1		0.575	0.575		
	三相 50 kvar		1		0.655	0.655		
	三相 75 kvar		1		1.13	1.13		
	三相 100 kvar		1		1.26	1.26		
	三相 150 kvar		1		1.59	1.59		
	三相 200 kvar		1		1.78	1.78		

表2-4-5 直列リアクトル（高圧進相コンデンサ用）（「標準単価積算基準」表E1-2-24）

直列リアクトル（高圧進相コンデンサ用）								
細目	摘要	単位	名称・所要量					
			直列リ アクトル	雑 材 料	電	普 通	そ の 他	搬 入 費
					工	作 業 員		
台	人	人						
直列リアクトル (6kV/3kV)	三相 SC 50kvar用	台	1	1 式 (材料価格 ×0.002)	0.629	0.629	1 式	1 式
	三相 SC 75kvar用		1		0.682	0.682		
	三相 SC 100kvar用		1		0.823	0.823		
	三相 SC 150kvar用		1		0.911	0.911		
	三相 SC 200kvar用		1		0.973	0.973		

⑤ 高圧開閉器、その他

開放垂直形の機器類に適用し、高圧気中開閉器、断路器等は極数、定格電流により採用する。計器用変成器、避雷器等は種類ごとに適用する。

計器用変成器、避雷器等は、1組でなく1個の歩掛りを示す。

⑥ 工事材料

1) 銅帯等

銅帯、銅棒、電線の歩掛りは、サイズにより適用する。開放形のフレーム部配

表 2-7-3 地中管路(イ) (「標準単価積算基準」表 E 1-2-38)

地中管路(イ)										
細目	摘要	単 位	名 称 ・ 所 要 量						備 考	
			厚鋼電線管・ケーブル 保護用合成樹脂被覆鋼管	硬質ビ ニル電線 管	波付硬質 合成樹脂 管	付 属 品	雑 材 料	電 工		そ の 他
厚鋼電線管 (G) ケーブル保護用 合成樹脂被覆鋼管 (GLL、GLT)	16	m	1.05			1 式 (管価格× 0.15)	1 式 (材料価格 (×0.02))	0.042	1 式	
	22							0.056		
	28							0.072		
	36							0.086		
	42							0.119		
	54							0.160		
	70							0.186		
82	0.226									
92	0.252									
104	0.281									
硬質ビニル電線管 (VE、HIVE)	16	m	1.05		1 式 (管価格× 0.15)	1 式 (材料価格 (×0.02))	0.030	1 式		
	22						0.037			
	28						0.044			
	36						0.060			
	42						0.075			
	54						0.091			
	70						0.113			
82	0.135									
波付硬質合成樹脂管 (FEP)	30	m	1.05		1 式 (管価格× 0.04)	1 式 (材料価格 (×0.01))	0.026	1 式		
	40						0.031			
	50						0.035			
	65						0.040			
	80						0.045			
	100						0.060			
	125						0.066			
150	0.072									
200	0.105									

表2-1-5 ねじなし電線管の撤去費（再使用しない）

〔標準単価積算基準〕表E2-1-2)

撤 去 費	ねじなし電線管 (E) 25 隠べい	再使用しない		1 m当たり	240円	
名 称	摘 要・規 格	単 位	所 要 量	単 価	金 額	備 考
電 工		人	0.011	19,200	211.2	
そ の 他	(労)×16%	式	1		33.79	211.20×0.16
計					244.99	

表2-1-6 プルボックスの撤去費（再使用しない）

〔標準単価積算基準〕表E2-1-5)

撤 去 費	プルボックス 300×300×300 (mm)	再使用しない		1 個当たり	2,000円	
名 称	摘 要・規 格	単 位	所 要 量	単 価	金 額	備 考
電 工		人	0.09	19,200	1,728	(300+300+300)×0.0001
そ の 他	(労)×16%	式	1		276.48	1,728×0.16
計					2,004.48	

② 新営歩掛りに対する乗率による単価作成例

「ケーブル、照明器具の撤去費（再使用する）の計算式」

ケーブル、蛍光灯器具の撤去費＝ 労務単価×新営所要量×乗率＋その他 ※

※その他＝(労務単価×所要量)×下請経費等率

表2-1-7 ケーブル撤去費（再使用する）

〔標準単価積算基準〕表E1-1-7、表E2-1-1)

撤 去 費 (取 り 外 し)	600V ポリエチレン ケーブル 60mm ² -3C ケーブルラック配線	再使用する		1 m当たり	880円	
名 称	摘 要・規 格	単 位	所 要 量	単 価	金 額	備 考
電 工		人	0.03936	19,200	755.71	0.082×1.2×0.4*
そ の 他	(労)×16%	式	1		120.91	755.71×0.16
計					876.62	

*ケーブルラック配線のため、歩掛り（電工の所要量）を1.2倍した。

⑧ 雑材料率

設計図面からは計測できない材料で、その数量及び金額がわずかで内訳書に計上しにくいものなどで、現場施工上必要となる諸材料や消耗品等をまとめて雑材料として、実績値を分析することにより、材料価格（所要量の電線管価格＋付属品価格）に対する率（雑材料率）で一括計上する。

雑材料としては、サドル、ボルト、ナット、ねじ、くぎ、プラグ、テープ、絶縁及びびび止め塗料、ウェス、結束線、補修及び養生のために必要な鉄筋、木材等の工事用補助材などがある。

(2) 単価作成例

「ねじなし電線管の複合単価計算式」

ねじなし電線管＝材料単価×所要量＋材料単価×付属品率＋（材料単価×所要量＋材料単価×付属品率）×雑材料率＋労務単価×所要量＋その他 ※

※その他＝（労務単価×所要量）×下請経費等率

表 1-1-5 ねじなし電線管（E）（「公共研参考歩掛り」表 RE-1-1）

ねじなし電線管(E)		E25	露出配管		1 m当たり	1,780円
名 称	摘 要・規 格	単 位	所 要 量	単 価	金 額	備 考
ねじなし電線管(E)	E25	m	1.1	171	188.1	1本636円 636÷3.66m
付 属 品	(管)×50%	式	1		85.5	171×0.5
雑 材 料	(材)×5%	式	1		13.68	(188.1+85.5)×0.05
電 工		人	0.0672	19,200	1,290.24	0.056×1.2*
そ の 他	(労)×16%	式	1		206.44	1,290.24×0.16
計					1,783.96	

*露出配管のため、歩掛り（電工の所要量）を1.2倍した。

VI 参考資料〔電気設備工事〕

(2) 単価作成例

〔プルボックス、アウトレットボックスの複合単価計算式〕

プルボックス、アウトレットボックス＝材料単価×所要量

＋(材料単価×所要量)×雑材料率＋労務単価×所要量＋その他 ※

※その他＝(労務単価×所要量)×下請経費等率

表1-1-12 プルボックス（「公共研参考歩掛り」表RE-1-7）

名 称	摘要・規格	単位	所要量	単 価	金 額	備 考
プルボックス	SS300×300×300C	隠べい			1個当たり	13,800円
プルボックス	SS300×300×300C	個	1	3,450	3,450	①接地端子付
支持材	インサート W3/8	個	2	31.5	63	②
支持材	吊ボルト(ナット付) W3/8×1000mm	個	2	89.5	179	③
雑材料	(材)×2%	式	1		73.84	(①+②+③)×0.02
電 工		人	0.45	19,200	8,640	(300+300+300)×0.0005
そ の 他	(労)×16%	式	1		1,382.4	8,640×0.16
計					13,788.24	

表1-1-13 アウトレットボックス（「公共研参考歩掛り」表RE-1-7）

名 称	摘要・規格	単位	所要量	単 価	金 額	備 考
アウトレットボックス	中4角深形 102×54	ボックスカ バー共			1個当たり	2,430円
アウトレットボックス	中4角深形 102×54	個	1	148	148	
ボックスカバー	中4角	個	1	49.50	49.5	
雑材料	(材)×2%	式	1		3.95	(148+49.5)×0.02
電 工		人	0.1	19,200	1,920	
そ の 他	(労)×16%	式	1		307.2	1,920×0.16
計					2,428.65	

2 配線工事

〔1〕 600V絶縁電線

(1) 公共研参考歩掛り

- ① 600V絶縁電線の歩掛り（表1-2-1）には、場内小運搬、材料、工具等の準備、呼線入線、寸法切り、通線、ボックス内での分岐、接続、テーピング等、絶縁抵抗試験、回路表示、残材片付け、清掃等を含む。ただし、機器への接続費は含まない。
- ② この歩掛りは、600V絶縁電線を電線管内に配線する歩掛りであるが、金属ダクト、線び類に配線する場合にも適用する。
- ③ 接地線として配線する場合には、管内の他にラック、ピット、トラフ、ダクト等に配線する場合にも適用する。
- ④ 合成樹脂可とう電線管（PF管、CD管）内配線の場合は、歩掛り（電工の所要量）を0.9倍する。

表1-2-1 600V絶縁電線（EM-IE、EM-IC、HIV、IV、IC）

〔公共研参考歩掛り〕表RE-1-9）

600V絶縁電線（EM-IE、EM-IC、HIV、IV、IC）							
細目	単位	名称	単位	所要量	備考		
600V絶縁電線	m	600V絶縁電線		14mm ² 以下	1.15		
				22mm ² 以上	1.10		
		電工	人	1.0mm	人	0.009	
				1.2mm		0.010	
				1.6mm		0.010	
				2.0mm		0.011	
				5.5mm ²		0.014	
				8 mm ²		0.016	
				14 mm ²		0.020	
				22 mm ²	人	0.024	
				30 mm ²		0.029	
				38 mm ²		0.032	
				50 mm ²		0.037	
				60 mm ²		0.042	
				80 mm ²		0.049	
				100 mm ²		0.056	
				125 mm ²		0.063	
				150 mm ²		0.073	
				200 mm ²		0.083	
				250 mm ²		0.098	
325 mm ²	0.117						
雑材料		1式（材料価格×0.05）					
その他		1式					

Ⅶ 公共建築工事標準単価積算基準・解説〔機械設備工事〕

表2-1-37 配管用炭素鋼鋼管（白）（「標準単価積算基準」表M1-1-23）

冷 温 水 管	呼び径100A	屋内一般	ねじ接合	1m当たり	13,000円	
名 称	摘 要・規 格	単 位	所要量	単 価	金 額	備 考
管	100A	m	1.05	2,140①	2,247	
継 手	管単価×65%	式	1		1,391	② ①×0.65
接 合 材 等	管単価×5%	式	1		107	③ ①×0.05
支 持 金 物	管単価×15%	式	1		321	④ ①×0.15
配 管 工		人	0.401	18,000	7,218	⑤
は っ り 補 修	労務費×8%	式	1		577.44	⑥ (⑤)7,218×0.08
そ の 他	(労+はっり)×15%	式	1		1,169.32	⑦ (⑤~⑥)7,795.44×0.15
計					13,030.76	

表2-1-38 配管用炭素鋼鋼管（白）（「標準単価積算基準」表M1-1-29）

排 火 管	呼び径100A	屋内一般	MD継手	1m当たり	12,100円	
名 称	摘 要・規 格	単 位	所要量	単 価	金 額	備 考
管	100A	m	1.1	2,140①	2,354	
継 手	管単価×115%	式	1		2,461	② ①×1.15
支 持 金 物	管単価×20%	式	1		428	③ ①×0.20
配 管 工		人	0.306	18,000	5,508	④
は っ り 補 修	労務費×8%	式	1		440.64	⑤ (④)5,508×0.08
そ の 他	(労+はっり)×15%	式	1		892.3	⑥ (④~⑤)5,948.64×0.15
計					12,083.94	

表2-1-39 配管用炭素鋼鋼管（黒）（「標準単価積算基準」表M1-1-32）

ブ ラ イ ン 管	呼び径100A	屋内一般	溶接接合	1m当たり	11,400円	
名 称	摘 要・規 格	単 位	所要量	単 価	金 額	備 考
管	100A	m	1.05	1,730①	1,816.5	
継 手	管単価×30%	式	1		519	② ①×0.30
接 合 材 等	管単価×8%	式	1		138.4	③ ①×0.08
支 持 金 物	管単価×15%	式	1		259.5	④ ①×0.15
配 管 工		人	0.389	18,000	7,002	⑤
は っ り 補 修	労務費×8%	式	1		560.16	⑥ (⑤)7,002×0.08
そ の 他	(労+はっり)×15%	式	1		1,134.32	⑦ (⑤~⑥)7,562.16×0.15
計					11,429.88	

表2-1-40 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（「標準単価積算基準」表M1-1-17）

消火管	呼び径50A	屋内一般	ねじ接合	1m当たり	7,340円	
名称	摘要・規格	単位	所要量	単価	金額	備考
管	50A	m	1.1	1,120①	1,232	
継手	管単価×110%	式	1		1,232	② ①×1.10
接合材等	管単価×5%	式	1		56	③ ①×0.05
支持金物	管単価×15%	式	1		168	④ ①×0.15
配管工		人	0.208	18,000	3,744	⑤
はつり補修	労務費×8%	式	1		299.52	⑥ (⑤)3,744×0.08
その他	(労+はつり)×15%	式	1		606.53	⑦ (⑤~⑥)4,043.52×0.15
計					7,338.05	

表2-1-41 一般配管用ステンレス鋼管（「標準単価積算基準」表M1-1-36）

給湯管	呼び径50SU	屋内一般	圧縮・プレス接合	1m当たり	5,860円	
名称	摘要・規格	単位	所要量	単価	金額	備考
管	50SU	m	1.1	956①	1,051.6	
継手	管単価×145%	式	1		1,386.2	② ①×1.45
支持金物	管単価×10%	式	1		95.6	③ ①×0.10
配管工		人	0.149	18,000	2,682	④
はつり補修	労務費×8%	式	1		214.56	⑤ (④)2,682×0.08
その他	(労+はつり)×15%	式	1		434.48	⑥ (④~⑤)2,896.56×0.15
計					5,864.44	

表2-1-42 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（「標準単価積算基準」表M1-1-40）

排水管	呼び径100A	屋内一般	MD継手	1m当たり	11,200円	
名称	摘要・規格	単位	所要量	単価	金額	備考
管	100A	m	1.1	2,210①	2,431	
継手	管単価×70%	式	1		1,547	② ①×0.70
支持金物	管単価×15%	式	1		331.50	③ ①×0.15
配管工		人	0.306	18,000	5,508	④
はつり補修	労務費×8%	式	1		440.64	⑤ (④)5,508×0.08
その他	(労+はつり)×15%	式	1		892.3	⑥ (④~⑤)5,948.64×0.15
計					11,150.44	

Ⅶ 公共建築工事標準単価積算基準・解説〔機械設備工事〕

表2-1-111 運搬機械運転（「標準単価積算基準」表M1-1-75）

運搬機械運転	トラック 普通用 2 t積				1日当たり		23,100円
名称	摘要・規格	単位	所要量	単価	金額	備考	
一般運転手		人	1	14,200	14,200	①	
燃料	軽油	L	23.1	110	2,541	②	
機械損料	普通用 2 t積	日	1.14	3,570	4,069.8	③	
その他	(労)×16%	式	1		2,272	④(①)14,200×0.16	
計					23,082.8		

表2-1-112 根切り（機械）（「標準単価積算基準」表M1-1-73）

根切り	機械 (バックホウ0.45㎡)				1㎡当たり		980円
名称	摘要・規格	単位	所要量	単価	金額	備考	
バックホウ運転		日	0.017	43,701	742.92		
普通作業員		人	0.015	13,600	204		
その他	(労)×16%	式	1		32.64	204×0.16	
計					979.56		

表2-1-113 埋戻し（機械）（「標準単価積算基準」表M1-1-73）

埋戻し	機械 (バックホウ0.45㎡)				1㎡当たり		1,860円
名称	摘要・規格	単位	所要量	単価	金額	備考	
バックホウ運転		日	0.011	43,701	480.71		
タンバ運転		日	0.031	20,930.54	648.85		
普通作業員		人	0.046	13,600	625.6		
その他	(労)×16%	式	1		100.1	625.6×0.16	
計					1,855.26		

表2-1-114 砂利地業（「標準単価積算基準」表M1-1-73）

砂利地業					1㎡当たり		6,570円
名称	摘要・規格	単位	所要量	単価	金額	備考	
切込み砂利		㎡	1.1	3,100	3,410		
普通作業員		人	0.2	13,600	2,720		
その他	(労)×16%	式	1		435.2	2,720×0.16	
計					6,565.2		

表2-2-17 空気熱源ヒートポンプユニット（「標準単価積算基準」表M1-2-8）

空気熱源 ヒートポンプユニット	5.5kW以下 防振基礎	据付費		1基当たり		75,100円
名 称	摘要・規格	単位	所要量	単 価	金 額	備 考
空気熱源 ヒートポンプユニット	5.5kW以下 防振基礎	基	1		—	
設備機械工		人	3.1×1.2	17,700	65,844	20%増し
その他	(労)×14%	式	1		9,218	65,844×0.14
計					75,062	16

表2-2-18 小形二重効用直だき吸収冷温水機（「標準単価積算基準」表M1-2-9）

小形二重効用 直だき吸収冷温水機	105kW	据付費		1基当たり		170,000円
名 称	摘要・規格	単位	所要量	単 価	金 額	備 考
小形二重効用 直だき吸収冷温水機	105kW	基	1		—	
設備機械工		人	8.44	17,700	149,388	
その他	(労)×14%	式	1		20,914	149,388×0.14
計					170,302	32

表2-2-19 冷却塔（「標準単価積算基準」表M1-2-10）

冷 却 塔	41.8kW、防振基礎 カウンターフロー	据付費		1基当たり		31,700円
名 称	摘要・規格	単位	所要量	単 価	金 額	備 考
冷 却 塔	41.8kW カウンターフロー	基	1		—	
設備機械工		人	1.31×1.2	17,700	27,824	20%増し
その他	(労)×14%	式	1		3,895	27,824.4×0.14
計					31,719	82

Ⅶ 公共建築工事標準単価積算基準・解説〔機械設備工事〕

- ① 市場単価にはダクトのシール、吊り用インサート（材工共）が単価構成内容に含まれていないので、表 2-2-49 に示す補正率を乗じた補正市場単価を使用する。

表 2-2-49 市場単価及び補正市場単価（ダクト設備）

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号
アングルフランジ工法ダクト	低圧（インサート取付費別途、A+Bシール無し）	m ²	A
	排煙（インサート取付費別途、A+Bシール無し）	m ²	B
共板フランジ工法ダクト	（インサート取付費別途、A+Bシール無し）	m ²	C
スパイラルダクト	低圧（インサート取付費別途）	m	D
チャンパー	低圧用（シール無し）	m ²	E

補正市場単価（補正係数）

細目	摘要	単位	単価記号	補正係数
アングルフランジ工法ダクト	低圧（インサート取付費含む、A+Bシール無し）	m ²	A	1.03
	排煙（インサート取付費含む、A+Bシール無し）	m ²	B	1.03
共板フランジ工法ダクト	（インサート取付費含む、A+Bシール無し）	m ²	C	1.04
スパイラルダクト	低圧（インサート取付費含む）	m	D	1.03
アングルフランジ工法ダクト	低圧（インサート取付費別途、A+Bシール共）	m ²	A	1.02
共板フランジ工法ダクト	（インサート取付費別途、A+Bシール共）	m ²	C	1.02
チャンパー	低圧用（シール共）	m ²	E	1.03
チャンパー	高圧1及び高圧2ダクト用（シール無し）	m ²	E	1.03

- ② 長方形ダクトのNシール（ダクト接合部ダクト折り返し4隅部のシール）は単価構成内容に含まれている。ただし、Aシール（ダクト縦方向のはぜ部のシール）+ Bシール（ダクト接続部のシール）が必要な場合、市場単価補正分を別途計上する。「標準仕様書（機械）」ではNシールに加えてAシール+Bシールが必要なダクトは厨房、浴室等多湿箇所の排気ダクトと規定されている。
- ③ チャンパー等のシール費は単価構成内容に含まれていないので、シールが必要な場合は補正市場単価を使用する。
- ④ チャンパー等の吊り用インサート（材工共）が単価構成内容に含まれていないので、必要箇所数を別途計上する。なお、シーリングデフューザー用ボックスのインサートは、特記がなければ1カ所とする。

表2-2-58 フレキシブルダクト（「標準単価積算基準」表M1-2-27）

フレキシブルダクト		200mm		1本当たり		4,100円
名称	摘要・規格	単位	所要量	単価	金額	備考
フレキシブルダクト	3mまで	本	1	2,350	2,350	①
ダクト用テープ	50幅	m	2.5	13.5	33.75	②
ダクト工		人	0.08	16,000	1,280	③
その他	(材+労)×12%	式	1		439.65	④(①~③)3,663.75×0.12
計					4,103.4	

表2-2-59 たわみ継手（「標準単価積算基準」表M1-2-30）

たわみ継手		片吸込形 No.3用		1組当たり		22,000円
名称	摘要・規格	単位	所要量	単価	金額	備考
片面アルミ箔ガラス布(2重)		m ²	1.16	6,580	7,632.8	①
ピアノ線	1φ×3本	kg	0.14	797	111.58	②
亜鉛鉄板	厚0.5mm	m ²	0.37	534	197.58	③
リベット	4.5φ×81	本	102	1	102	④
形鋼		kg	7.9	94.5	746.55	⑤
雑材料	(材)×3%	式	1		263.72	⑥(①~⑤)8,790.51×0.03
ダクト工		人	0.64	16,000	10,240	⑦
その他	(材+雑+労)×14%	式	1		2,701.19	⑧(①~⑦)19,294.23×0.14
計					21,995.42	

② 市場単価適用単価

表2-2-60～表2-2-64に吹出口、風量調節ダンパー、長方形ダクト、スパイラルダクト、チャンバーの単価作成例を示す。

表2-2-60 市場単価 吹出口（ユニバーサル形）（「標準単価積算基準」表M1-2-32）

ユニバーサル形吹出口		VHS-400×200		1個当たり		10,700円
名称	摘要・規格	単位	所要量	単価	金額	備考
VHS-400×200		個	1		4,680	材料単価
吹出口取付費	0.10m ² 以下	個	1		5,980	市場単価
計					10,660	

第2節 共通工事

1 仮 設

(1) 一般事項

設備工事の仮設は、「標準単価積算基準」第2編第2章第1節に基づき適切に算定する。

設備システムの機能停止等が困難な場合に、既存の設備機能等を維持させるための設備が必要な場合は、仮設備を計上する。仮設備に使用する仮設材費の単価については、原則として損料率を算出して仮設材費を適切に算定し、労務費を計上する。

仮設配管等を本工事とする場合、拾い数量は図面からの設計数量を計上するが、単価については「改修標準仕様書（機械）」において、仮設等に使用する材料は、使用上差し支えないものとする。との記載もあり、必ずしも新品を要求していないこと及び短期間の仮設後に再使用（転用）等の可能性もあることから、管種の汎用性や使用用途について確認した上で、計上する配管等の複合価格を70%程度に低減してもよい。

また、保温の必要な場合は全損と考え100%を計上する。

(2) 単価作成例

表3-2-1に仮設配管の単価作成例を示す。

表3-2-1 仮設配管（HIVP）（「標準単価積算基準」表M1-1-45）

給	水	管	呼び径 100 A	屋外架空(仮設)	接着接合	1 m当たり	4,860円
名	称	摘要・規格	単位	所要量	単 価	金 額	備 考
	管	HIVP 100 A	m	1.05	1,395:①	1,464:75	
継	手	管単価×30%	式	1		418:5	② ①×0.30
接	合	管単価×10%	式	1		139:5	③ ①×0.10
支	持	管単価×25%	式	1		348:75	④ ①×0.25
配	管		人	0.221	18,000	3,978:	⑤
そ	の	(労)×15%	式	1		596:7	⑥ (⑤)3,978×0.15
計						6,946:2	⑦
低	減	複合単価×70%				4,862:34	⑧ (⑦)6,946.2×0.7

表3-5-7 配管類撤去（撤去後再使用する場合）（「標準単価積算基準」表M2-4-1）

配管用炭素鋼鋼管 （白 管）	呼び径 50A	屋内露出	冷却水	1m当たり	1,720円	
名 称	摘 要・規 格	単 位	所 要 量	単 価	金 額	備 考
配 管 工		人	0.0832	18,000	1,497.6	0.208×0.4
そ の 他	(労)×15%	式	1		224.64	1,497.6×0.15
計					1,722.24	

表3-5-8 配管類撤去（「標準単価積算基準」表M2-4-1）

配管用炭素鋼鋼管 （白 管）	呼び径 50A	屋内露出	冷却水	1m当たり	1,290円	
名 称	摘 要・規 格	単 位	所 要 量	単 価	金 額	備 考
配 管 工		人	0.0624	18,000	1,123.2	0.208×0.3
そ の 他	(労)×15%	式	1		168.48	1,123.20×0.15
計					1,291.68	

表3-5-9 給水管保温撤去（「標準単価積算基準」表M2-4-2）

給水管保温撤去	呼び径 50A	屋内露出	ポリスチレン フォーム	1m当たり	460円	
名 称	摘 要・規 格	単 位	所 要 量	単 価	金 額	備 考
保 温 工		人	0.015	16,800	252.8	
ダ ク ト 工		人	0.009	16,000	144	
そ の 他	(労)×16%	式	1		63.36	396.8×0.16
計					459.36	

表3-5-10 ダクト類保温撤去（「標準単価積算基準」表M2-4-5）

長方形ダクト保温撤去	ロックウール グラスウール	屋内露出	カラー 亜鉛鉄板	1㎡当たり	3,310円	
名 称	摘 要・規 格	単 位	所 要 量	単 価	金 額	備 考
保 温 工		人	0.17	16,800	2,856	
そ の 他	(労)×16%	式	1		456.96	2,856×0.16
計					3,312.96	

VIII 参考資料〔機械設備工事〕

参考表 2-1-4 グラスウール（ダクト類）（「公共研参考歩掛り」表 RM-1-16）

区分	施工場所	細目	保温厚 mm	単位	材								
					鉄		グラスウール 保温板	グラスウール 保温帯	アルミガラス化粧 保温板	アルミガラス化粧 保温帯	ポリエチレン フォーム	アスファルト フィング	エマルジョン 接着剤
					(38L) 本	(65L) 本	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	kg
一般ダクト	長	屋内露出 (居室、廊下など)	50	m ²	—	20	1.30	—	—	—	—	—	
		機械室、書庫、倉庫 など	25	m ²	20	6	—	—	1.30	—	—	—	
	方	屋内隠べい、ダクト シャフト内	50	m ²	—	20	—	—	1.30	—	—	—	
		屋外露出 (バルコニー、開放廊下 を含む)及び浴室、厨 房などの多湿箇所(厨 房の天井内は含まない)	25	m ²	20	6	—	—	1.30	—	—	—	
	スパイラル	屋内露出 (居室、廊下など)	50	m ²	—	—	—	1.45	—	—	—	—	
		機械室、書庫、倉庫 など	25	m ²	—	—	—	—	—	1.45	—	—	
		屋内隠べい、ダクト シャフト内	50	m ²	—	—	—	—	—	1.45	—	—	
		屋外露出 (バルコニー、開放廊下 を含む)及び浴室、厨 房などの多湿箇所(厨 房の天井内は含まない)	25	m ²	—	—	—	—	1.45	—	—	—	
			50	m ²	—	—	—	1.45	—	—	—	1.52	
		消音内貼り	サプライ チャンバー	50	m ²	—	30	1.05	—	—	—	—	0.30
25	m ²			30	—	1.08	—	—	—	—	0.30		
消音チャンバー 消音エルボ	50		m ²	—	30	1.05	—	—	—	—	0.30		
	25		m ²	30	—	1.08	—	—	—	—	0.30		

- 注) 1. 保温工 (40k) は、保温材が40kの場合に適用する。
 2. 保温工 (32k) は、保温材が32kの場合に適用する。

1 配管工事

料						雑 材 料	保 温 工 40K	保 温 工 32K	ダクト工					運 搬 費	そ の 他
アルミガラスクロス 粘着テープ			ガラス クロス	銅きつ 甲金網 (10目)	外 装 材				亜鉛 鉄板 (0.4mm)	カラー亜 鉛鉄板 (0.35mm)	溶融アルミニ ウム亜鉛鉄板 (0.35mm)	アルミニ ウム板 (0.8mm)	ステンレ ス鋼板 (0.3mm)		
65巾	85巾	110巾													
m	m	m	m ²	m ²	m ²	人	人	人	人	人					
—	—	—	—	—	1.75	0.085	—	0.48	0.50	0.50	0.58	0.86	1式 (材料費+雑材料費) ×3%	1式	
0.85	5.60	—	—	—	—	0.158	—	—	—	—	—	—			
2.58	—	3.34	—	—	—	0.134	—	—	—	—	—	—			
0.85	5.60	—	—	—	—	0.150	—	—	—	—	—	—			
—	—	—	—	—	1.75	0.102	—	0.48	0.50	0.50	0.58	0.86			
—	—	—	—	—	1.75	0.102	—	0.48	0.50	0.50	0.58	0.86			
—	—	—	—	—	1.75	0.129	0.103	0.34	0.36	0.36	0.44	0.61			
4.45	—	—	—	—	—	0.163	0.130	—	—	—	—	—			
4.97	—	—	—	—	—	0.176	0.141	—	—	—	—	—			
4.45	—	—	—	—	—	0.155	0.124	—	—	—	—	—			
—	—	—	—	—	1.75	0.154	0.123	0.34	0.36	0.36	0.44	0.61			
—	—	—	—	—	1.75	0.154	0.123	0.34	0.36	0.36	0.44	0.61			
—	—	—	1.00	1.10	—	0.255	—	—	—	—	—	—			
—	—	—	1.00	1.10	—	0.240	—	—	—	—	—	—			
—	—	—	1.00	—	—	0.221	—	—	—	—	—	—			
—	—	—	1.00	—	—	0.199	—	—	—	—	—	—			

細 目	単位	摘 要	配管工	その他
			人	
補助散水栓箱 (埋込形)	組	ホース、ノズル、ホース収納装置、 (発信機、表示灯、電鈴)箱	1.40	1式
補助散水栓箱 (露出形)	組	ホース、ノズル、ホース収納装置、 (発信機、表示灯、電鈴)箱	1.25	1式

(5) 単価作成例

参考表 2-4-5 にスプリンクラー設備の単価作成例を示す。

参考表 2-4-5 スプリンクラーヘッド (「公共研参考歩掛り」表 RM-4-2)

名 称	摘 要・規格	単位	所要量	単 価	金 額	備 考
スプリンクラーヘッド	マル子型 閉鎖型	個	1	1,090	1,090	
配管工		人	0.18	18,000	3,240	
その他	(労)×14%	式	1		453.6	3,240×0.14
計					4,747.6	